

お知らせ

令和7年10月10日
水産庁

令和6年度の食料自給率(水産物)の概要

本日、令和6年度の食料自給率等が、大臣官房政策課食料安全保障室から公表されました(農林水産省ホームページ(URLは https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/01_1_2.html)に掲載)。

このうち、水産物の自給率は以下のとおりです。

【重量ベースの自給率】

年度	令和4年度 確定値	令和5年度 確定値	令和6年度 概算値	増減
魚介類(食用)	56%	54%	52%	－2ポイント
魚介類(全体)	54%	53%	52%	－1ポイント
海藻類	67%	65%	61%	－4ポイント

※自給率(重量ベース)の算出方法

$$\frac{\text{国内生産量}}{\text{国内消費仕向量}} = \frac{\text{国内生産量} + \text{輸入量} - \text{輸出量} \pm \text{在庫増減}}{\text{国内消費仕向量}}$$

【水産物自給率(重量ベース)の増減要因】

【魚介類(食用)】

- ・ 国内生産量は、かつお等の生産量は増加したが、ほたてがい、まいわし、さけ類等の生産量が減少したため、11.7万トン減少した。
- ・ 国内消費仕向量は、前年度に比べ5.1万トン減少した。
- ・ これらの結果、自給率は低下した。

(参考) 自給率は、国内消費仕向量に占める国内生産量の割合であるため、国内消費仕向量が減少しても国内生産量がそれ以上の割合で減少すれば減少する。

【海藻類】

- ・ 国内生産量は、こんぶ類等の生産量が減少したため、0.8万トン減少した。
- ・ 国内消費仕向量は、前年度に比べ0.7万トン減少した。
- ・ これらの結果、自給率は低下した。

<参考>

1. 食用魚介類自給率(重量ベース)の要素ごとの変動要因

・国内生産量 前年比 11.7 万トン(4.3%)減少

(令和5年度:272.5 万トン→令和6年度:260.8 万トン)

生産量が増加したもの

かつお(5.1 万トン増)、さんま(1.4 万トン増)等

生産量が減少したもの

ほたてがい(4.6 万トン減)、まいわし(2.6 万トン減)、

さけ・ます類のうちさけ類(2.2 万トン減)等

・輸 入 量 前年比 3.1 万トン(1.1%)増加

(令和5年度:284.4 万トン→令和6年度:287.5 万トン)

輸入量が増加したもの

さけ・ます類(2.6 万トン増)、えび類(2.3 万トン増)等

・輸 出 量 前年比 4.7 万トン(8%)減少

(令和5年度:57.7 万トン→令和6年度:53.0 万トン)

輸出量が減少したもの

たら類(2.0 万トン減)、ほたてがい(1.9 万トン減)等

・国内消費仕向量 前年比 5.1 万トン(1.0%)減少

(令和5年度:502.1 万トン→令和6年度:497.0 万トン)

2. 海藻類自給率(重量ベース)の要素ごとの変動要因

・国内生産量 前年比 0.8 万トン 11.3%)減少

(令和5年度:7.1 万トン→令和6年度:6.3 万トン)

・国内消費仕向量 前年比 0.7 万トン(6.4%)減少

(令和5年度:11.0 万トン→令和6年度:10.3 万トン)

3. 水産物の自給率(重量ベース)の推移

(%)

	H29年度	30	R元	2	3	4	5	6(概算)
魚介類(食用)	56	59	55	57	59	56	54	52
魚介類(全体)	52	55	53	55	58	54	53	52
海藻類	69	68	65	70	68	67	65	61

資料:「食料需給表」

担当:水産庁企画課 動向分析班

富樫、清水

代表 03-3502-8111(内線6578)

直通 03-6744-2344